

1 多形紅斑

1 概説

感染症，薬剤または腫瘍・結合組織疾患，食物，寒暖変化などによるアレルギー反応といわれている。

2 中医病名

「猫眼瘡」「雁瘡」など。

3 症状の特徴

- 最初に点状の浮腫性の赤い斑点が生じ，以後に遠心性に拡大し，約 48 時間で指頭大の紅斑となる。
- 紅斑は，互いに融合して地図状となることもある。
- 紅斑の辺縁は鮮紅色で堤防状に隆起し，中央部はやや陥凹して蒼白となり，虹彩状を呈する。時に中央部は水疱となったり，出血したりする。
- 皮疹は数日間次々と生じるので新旧の皮疹が混在し，多形を呈する。
- 好発部位は，手背・手掌・指・前腕・足・肘・膝などで，左右対称性に発生しやすい。時に体幹部や顔面にも生ずる。
- 自覚症状は通常ほとんどないが，軽度の痛みを訴えることが多い。
- 全身症状は通常ほとんどないが，水疱性の皮疹の場合には頭痛・発熱・全身倦怠感・関節痛などが軽度に見られることがある。
- 青壮年期の男女に好発する。
- 薬物の摂取や内臓の悪性腫瘍の存在などによって生ずる際には，①皮疹は辺縁隆起性の環状を呈さず，浮腫の少ない扁平な紅斑となりやすい，②皮疹の分布は四肢に限らず全身性となりやすい，③瘙痒を伴いやすいなど，定型的な本症と多少異なることが多い。



手掌の虹彩状紅斑・水疱

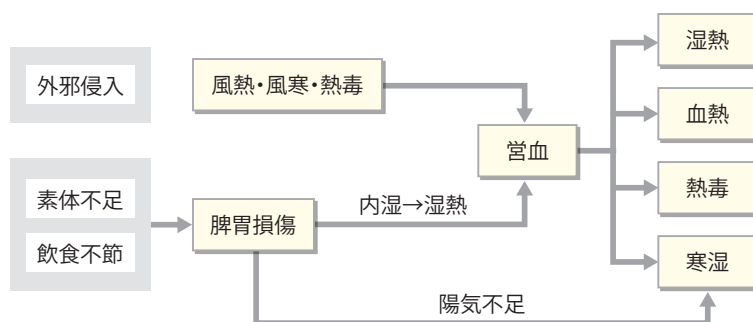
4 鑑別診断

- ジベルばら色秕糠疹：初発疹はヘラルドパッチの特徴をみる。楕円形または紡錘形の細かい鱗屑を伴う紅斑。紅斑の長軸は皮膚の割線の方角にほぼ一致する。
- 薬疹：明確な薬剤服用歴がある。
- 天疱瘡：より大きな水疱がみられる。Nikolsky 徴候が陽性。

5 病因病機

本症は単一の病因で起こるものではなく、種々のウイルス・細菌・真菌などの感染症，薬物・食物・内分泌異常・悪性腫瘍・物理的刺激などによって起こるアレルギー性の反応型と考えられる。これらの原因物質のうち，最もよく知られているのは，単純疱疹ウイルスと肺炎マイコプラズマである。

本症の15%は単純性疱疹ウイルスによるといわれ，このような例では口唇・口腔粘膜などの単純疱疹に罹患後，数日して本症を発生する。



6 弁証論治

証型	症状	治則	処方
血熱	皮疹は濃い紅斑。病変部に灼熱感。発熱・咽が痛い・口が渇く。時に関節痛。便秘・小便黄。舌質紅・舌苔黄。	清熱涼血・解毒利湿	普濟消毒飲加減 板藍根 15g，黄芩 10g，黄連 10g，桔梗 10g，牛蒡子 10g，薄荷 6g，連翹 10g，玄参 10g，馬勃 10g，白僵蚕 10g，升麻 8g，柴胡 8g，陳皮 8g，甘草 6g など エキス製剤 清営顆粒＋三物黄芩湯または黄連解毒湯
湿熱	皮疹が赤く，水疱を伴う。あるいは口腔内・外陰部に糜爛。発熱・時に関節痛。舌質紅・舌苔膩。	清熱解毒・利湿除斑	竜胆瀉肝湯加減 竜胆草 10g，柴胡 10g，山梔子 10g，生地黄 12g，黄芩 10g，木通 10g，沢瀉 10g，車前子 10g，当帰 12g，甘草 6g ＋荊芥 10g，苦参 10g，地膚子 10g，馬齒莧 15g エキス製剤 竜胆瀉肝湯＋黄連解毒湯

熱毒	発疹は汎発し、紅斑・大きい水疱・糜爛・出血。粘膜部の糜爛。高熱・咽が渴く。全身のだるさ・動悸・便秘。小便黄。舌質紅絳，舌苔黄。脈洪数。	清熱利湿・涼血解毒	清瘟敗毒飲加減 石膏 15 g，地黄 12 g，黄連 10 g，山梔子 10 g，桔梗 10 g，黄芩 10 g，知母 10 g，赤芍 10 g，玄参 10 g，連翹 10 g，竹葉 8 g，牡丹皮 10 g，甘草 6 g，水牛角 15 g など エキス製剤 清宮顆粒＋黄連解毒湯または十味敗毒湯
寒湿	皮疹の色は暗，淡色を呈し，冷やすと悪化。手足が冷え，畏寒。肢体がだるい。尿は清澄，時に便溏。舌質淡・舌苔白。	温陽除湿・通絡散寒	当帰四逆湯加味 当帰 12 g，芍薬 12 g，桂枝 10 g，細辛 3 g，通草 10 g，甘草 6 g ＋防己 10 g，防風 10 g，蒼朮 10 g，白朮 10 g など エキス製剤 桂枝加朮附湯または当帰四逆加呉茱萸生姜湯

7 外用

- 三黄洗剤を患部に湿布する。
- 竜胆草洗剤＋清熱止痒散を煎じて患部に湿布する。
- 糜爛の場合は，馬齒莧 15 g，黄柏 10 g，苦参 10 g，大黄 10 g を水で煎じて患部に湿布する。

8 養生

- 刺激の強い食べ物，魚介類などを避ける。
- 風寒型には保温する。
- 薬剤によるものは服用中の薬を中止する。